

LEC会計大学院

IMA(米国管理会計士協会)とパートナーシップ締結

LEC東京リーガルマインド大学院大学 高度専門職研究科 会計専門職専攻(略称:LEC会計大学院)は、このたび、U.S.CMA(米国公認管理会計士)の資格を発行し、管理会計教育に焦点をおいた世界で最も大きく権威ある協会のひとつであるIMA(Institute of Management Accountants、本部所在地:米国ニュージャージー州モントベール)と提携するための覚書を交わしました。

IMAとの提携により、LEC会計大学院は、財務・会計のプロフェッショナルが世界に通用する管理会計スキルを開発するための支援を今後も進めていきます。

【U.S.CMA(米国公認管理会計士)とは】

IMAが主催し、アメリカではU.S.CPA(米国公認会計士)と並んで会計分野のプロフェッショナルとして評価される、権威ある資格です。財務および管理会計のキャリアを志向するプロフェッショナルのスキルギャップを埋めることを目的とし、今日の経済において重要とされる管理会計スキルと知識の構築が達成できるよう設計されています。

◆ U.S.CMA資格取得に向けたバックアップ(CMAスカラシップ)

今回の提携により、LEC会計大学院はU.S.CMA資格の受験に関して、年間10名までの在院生に対してCMAスカラシップ(奨学金)を認められるようになりました。このスカラシップは、U.S.CMA資格取得に必要なIMAメンバーシップ料(3年間)、CMAプログラム加入料、受験登録料等が免除になり、「Gleim CMA Review」のオンラインコースも無料で受講できるという内容です。

◆ 在院生、修了生を対象に「U.S.CMA勉強会」を実施

提携に伴い、LEC会計大学院では、2023年4月より在院生ならびに修了生を対象とした「U.S.CMA勉強会」(担当講師:結城 邦博教授)を開講します。本講座は、U.S.CMAの問題を題材として英語の設例に取り組むことで、ファイナンス・管理会計領域の応用力を身に着けるとともに、実践的な英語力の向上も図っていくことを目的とします。

■ LEC会計大学院概要

名称	LEC東京リーガルマインド大学院大学 高度専門職研究科 会計専門職専攻 [略称:LEC会計大学院]
取得学位	会計修士(専門職) (英文名称 MBA with a specialization in professional accountancy)
修業年限	標準修業年限2年 (長期履修学生制度の適用により最長4年間の計画的履修が可能)
修了要件 単位数	40単位以上の修得(年間履修登録上限単位数30単位) ※修士論文を作成の上、学位の取得を希望する場合、研究指導科目を履修し、指導教授から必要な研究指導を受け論文を作成し、本大学院の学位論文審査に合格しなければなりません。
開講形態	・社会人の方が仕事を続けながら学修できるよう、授業は平日夜間と土日に開講します。 ・時間割に沿って、オンラインにて授業を実施します。 ・半期履修制(セメスター制)です。履修科目は半期制(約6ヶ月間)で編成されています。
定員	入学定員 60名 収容定員 120名

- ◆ 本件に関するお問合せ先 :LEC会計大学院
- ◆ 取材に関するお問合せ先 :株式会社東京リーガルマインド広報課

TEL 03-3222-5151
TEL 03-5913-6220